

金融機関経営のパラダイムシフト ～事業モデル再構築の視点

期 日
2018年7月27日(金)

講 師 陣	みずほ銀行 取締役頭取	藤原 弘治 氏
	ゆうちょ銀行 取締役兼代表執行役社長	池田 憲人 氏
	早稲田大学ビジネス・ファイナンス研究センター 顧問 一橋大学 名誉教授	野口 悠紀雄 氏
	金融庁 監督局長	遠藤 俊英 氏
	日本銀行 金融機構局長	山田 泰弘 氏
	和キャピタル 代表取締役社長	小栗 直登 氏

会 場	明治記念館(東京・元赤坂)	
参 加 費	45,360円(テキスト代、昼食代、レセプション費用、消費税含む)	
主な対象者	主要行、中小・地域金融機関、金融サービス関連企業の経営トップ・幹部(定員100名)※交代聴講可	

第90回 トップマネジメントセミナー 2018

金融機関経営のパラダイムシフト ～事業モデル再構築の視点

- 期 日 2018年7月27日(金)
- 会 場 明治記念館(東京・元赤坂)
- 参加費 45,360円(テキスト代、昼食代、レセプション費用、消費税含む)
- 主な対象者 主要行、中小・地域金融機関、金融サービス関連企業の経営トップ・幹部(定員100名)※交代聴講可
※定員となり次第、締め切らせていただきます。
- 主 催 一般社団法人金融財政事情研究会
- 協 賛 NTT DATA 株式会社NTTデータ

【お申込み方法】

- ①別添の申込書にご記入のうえ、FAX、Eメールまたは郵送にてお送り願います。お電話によるお申込みはご予約とさせていただきます。
- ②お申込み多数の場合は、申込書による受付順に締め切らせていただく場合がありますことをご承願います。
- ③申込書到着後、請求書と聴講証をお送りいたします。開催3日前までに届かない場合にはご連絡願います。なお、期日切迫してからのお申込みの場合には、当日受付にてお名刺を1枚ご提出くださいますようお願いいたします。
- ④参加費のお振込みは請求書到着後、開催日までをお願いいたします。参加費の払戻しはいたしませんので予めご了承ください。
- ⑤領収証ご入用の場合は、申込み時に別途ご連絡願います。

【お願い】

- レコーダーやカメラなど画像・音声記録機器の使用はご遠慮ください。
- テキスト、資料等は当日会場でお渡しいたします。参加者以外の方にはお断りいたします。
- 参加される方のご都合が悪くなった場合は、代理の方のご出席をご検討願います。
- 無料専用駐車場がございます。
- クールビズにてのご参加をお願いいたします。

会場のご案内

明治記念館 ※右図参照

- 〒107-8507 東京都港区元赤坂2-2-23
- JR中央・総武線「信濃町駅」下車 徒歩3分
- 地下鉄 銀座線・半蔵門線「青山一丁目駅」下車 2番出口 徒歩6分
- 地下鉄 大江戸線「国立競技場駅」下車 A1出口 徒歩6分

【当日のご連絡先】

明治記念館 TEL 03-3746-7711

お問合せ先

一般社団法人 金融財政事情研究会

〒160-8519 東京都新宿区南元町19 社団事務局
TEL:03(3358)0018[直通] FAX:03(3359)7947
E-mail:jimu-seminar@kinzai.or.jp



金融機関経営のパラダイムシフト ～事業モデル再構築の視点

金融機関を取り巻く環境は劇的かつ急速に変化しており、長短金利差に頼りバランスシートを拡大し収益をあげる従来型のビジネスモデルはレガシー化しつつあります。人口減少・高齢化の進展、低金利環境の想定外の長期化、FinTechの進展といった地殻変動に直面するなか、金融機関は、スピード感をもって新しいビジネスモデルの構築に向けた具体的な施策を、組織的・継続的に実践していかなければなりません。本セミナーではそのための視点を提示します。

9:00～ **開場**

Session I

9:30～10:50

みずほ銀行 取締役頭取 **藤原 弘治** 氏

金融機関の経営環境とみずほ銀行の戦略展開

厳しさを増す外部環境を踏まえ、いち早く事業基盤の抜本的構造改革に着手した〈みずほ〉。総合金融コンサルティンググループをめざし、進化を続ける“One MIZUHO”戦略を語る。

●プロフィール

【藤原 弘治(ふじわら こうじ)氏】昭和60年3月早稲田大学商学部卒、平成4年6月 ニューヨーク大学(NYU)経営大学院修了(金融学専攻)、平成16年6月マサチューセッツ工科大学(MIT)経営大学院修了(経営学専攻)。平成24年4月みずほFG執行役員IR部長、平成26年4月 同 常務執行役員企画グループ長、みずほ銀行常務取締役企画グループ長(平成29年4月まで)、平成26年6月みずほFG取締役兼執行役員常務企画グループ長、平成29年4月より現職。



Session II

11:00～12:00

早稲田大学 ビジネス・ファイナンス研究センター顧問
一橋大学 名誉教授

野口 悠紀雄 氏

ブロックチェーン革命と金融ビジネスの変貌

仮想通貨の基礎技術とされることが多い「ブロックチェーン」だが、野口氏は、金融の仕組みはもちろん、あらゆるビジネス、組織のありかた、さらには働き方にも本質的な変革をもたらすと予測する。FinTech、IoT、AIといったテクノロジーの圧倒的な進展の状況とあわせ、その「革命」のインパクトを解説する。

●プロフィール

【野口 悠紀雄(のぐち ゆきお)氏】東京都出身。昭和38年東京大学工学部卒、昭和39年大蔵省入省。昭和47年エール大学Ph.D.(経済学博士号)。一橋大学教授、東京大学教授(先端経済工学研究センター長)、スタンフォード大学客員教授などを経て、平成17年4月より早稲田大学大学院ファイナンス研究科教授。平成23年4月より早稲田大学ファイナンス総合研究所顧問、一橋大学名誉教授。平成29年9月より現職。



12:00～13:00 **昼食**

Session III

13:00～14:00

日本銀行 金融機構局長 **山田 泰弘** 氏

金融機関経営の課題

日銀は、金融機関の収益力の低下の背景に従業員数や店舗数が過剰になっている可能性が高いと指摘する。収益源の多様化、採算管理の精緻化、業務改革への取り組みなど、金融機関経営の効率化と将来にわたっての収益安定性確保に向けた課題を整理する。

●プロフィール

【山田 泰弘(やまだ やすひろ)氏】昭和62年東京大学法学部卒、日本銀行入行。政策委員会室参事役(新日銀ネット構築タスクフォース)、決済機構局参事役(新日銀ネット構築担当)、決済機構局新日銀ネット企画課長、横浜支店長、総務人事局参事役、総務人事局審議役を経て、平成26年システム情報局長、平成28年5月より現職。



Session IV

14:10～15:10

ゆうちょ銀行 取締役兼代表執行役社長 **池田 憲人** 氏

ゆうちょ銀行の経営戦略～資金運用高度化を中心に

「顧客本位の良質な金融サービスの提供」、「地域への資金の循環等」、「資金運用の高度化・多様化」の3つを基軸としたビジネスを展開するゆうちょ銀行。資金運用高度化の一環としてプライベートエクイティファンドの運用会社を新たに設立した狙いをはじめ、200兆円を超える資産の運用戦略、リテールサービスの今後などについて語る。

●プロフィール

【池田 憲人(いけだ のりと)氏】神奈川県出身。昭和45年東北大学法学部卒、同年4月横浜銀行入行、中央市場支店長、市ヶ谷支店長などを経て、平成8年取締役融資管理部長、平成9年取締役総合企画部長、平成11年常務取締役、平成13年代表取締役(CFO)、平成14年代表取締役(CPO)、平成15年横浜キャピタル代表取締役会長、同年足利銀行代表取締役頭取、平成20年A.T.カーニー特別顧問。平成24年東日本大震災事業者再生支援機構代表取締役社長、平成28年4月より現職。



Session V

15:20～16:20

和キャピタル 代表取締役社長 **小栗 直登** 氏

地域金融機関における市場運用強化の道筋

本業の預貸金業務や手数料ビジネスの収益が急速に悪化するなか、市場運用での収益確保の期待はかつてなく高い。一方で、金融庁が指摘するように、その陣容やリスク管理態勢が脆弱な機関も多い。大手地銀で30年以上にわたり一貫して市場運用業務に従事してきた小栗氏が、「市場運用業務の本業化」に向けた課題と戦略を示す。

●プロフィール

【小栗 直登(おぐり なおと)氏】静岡県出身。昭和56年4月株式会社静岡銀行入行。支店勤務後、市場営業部、香港支店、資金証券部などほぼ一貫して国内外の市場運用業務に従事。平成17年4月資金証券部長、平成25年1月理事。平成27年10月スパークス・アセット・マネジメント入社。平成28年2月和キャピタル設立とともに現職。



Session VI

16:30～17:30

金融庁 監督局長 **遠藤 俊英** 氏

金融行政の方向性

金融庁は新しい検査・監督のあり方に向け、組織改革や検査マニュアルの廃止など、思い切った改革を断続的に行っている。持続可能なビジネスモデルの構築に向けた探求型対話など「動的な監督」の考え方をはじめ、今後の金融監督行政のあり方と金融機関への期待を金融庁首脳が語る。

●プロフィール

【遠藤 俊英(えんどう としひで)氏】昭和57年東京大学法学部卒、大蔵省入省(主計局)。昭和59年英国ロンドン大学(LSE)留学(経済学修士)。米子税務署長、銀行局、主税局、IMF等を経て、平成14年金融庁証券取引等監視委員会特別調査課長、平成16年監督局参事官、平成17年監督局銀行第一課長、平成19年総務企画局参事官兼信用制度参事官、平成20年検査局総務課長、平成21年総務企画局総務課長、平成22年監督局参事官、平成23年監督局審議官、平成25年6月総務企画局審議官兼財務省関東財務局金融商品取引所監理官、平成26年7月検査局長、平成27年7月より現職。



17:40～19:00

レセプション